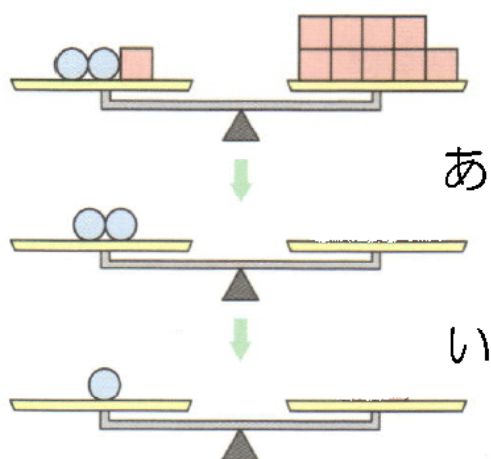


## 方程式 1-3 等式の性質を使った解き方

※等式の性質を使った方程式の解き方

問 釣り合っている天秤があります。この水色の玉が、四角い茶色の箱の何個分かを考えます。「あ」、「い」に入る図を書きなさい。



Point 等式の性質

### ≫ 等式の性質

- ① 等式の両辺に同じ数や式を加えても、等式は成り立つ。  
 $A = B$  ならば  $A + C = B + C$
- ② 等式の両辺から同じ数や式をひいても、等式は成り立つ。  
 $A = B$  ならば  $A - C = B - C$
- ③ 等式の両辺に同じ数をかけても、等式は成り立つ。  
 $A = B$  ならば  $AC = BC$
- ④ 等式の両辺を 0 でない同じ数でわっても、等式は成り立つ。  
 $A = B$  ならば  $\frac{A}{C} = \frac{B}{C}$  ( $C \neq 0$ )

問 上の天秤で、「あ」の皿にしたときには、等式の性質の何番目が使われていますか

**例 2** 方程式  $x + 9 = 4$  を解いてみよう。

**たしかめ**  
**2** 方程式  $x + 4 = 12$  を解きなさい。

**問 3** 次の方程式を解きなさい。

(1)  $10 + x = 7$

(2)  $y - 7 = 6$